

平成 29 年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価  
【さくらまち】

◆事業所自己評価……………(事-①～⑨)

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 20 日 ( 19:30 ~ 21:00 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	1 人	1 人	12 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>新規の方については、管理者または計画作成担当者が利用者記録を記入し回覧する。</li><li>送迎時に家族、本人から聞いた想いを、バイタル帳に記入し周知する。(青ボールペン使用)</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>新規の方の情報は、回覧方式をとり職員間で確認できたので、利用の事前情報を得ることができた。</li><li>利用者さんが利用日連絡帳に記載されていることを、バイタル帳に青のボールペンで記入し、長文については本文をコピーして貼ってくれたので、本人や家族の思いなどを共有できた。</li><li>職員是認が意識できていない。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9	2	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	11	1	0	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	11	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	9	3	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>直接聞き取りをしたほうが良いと思われる事柄があった場合は、送迎時に家族からの声を聴くように心がけた。対処方法など、気を付けることを確認できた。【理由】昨年に比べて朝礼を毎日実施することによって、職員間で周知・確認することができた。</li><li>朝礼に参加できなかった職員は、バイタル帳の確認や、他の職員に確認をして、統一した対応ができるようになった。【理由】利用者さんの様子を周知することが習慣化してきた。</li><li>新規の方には、顔見知りになった職員が側で見守り、他の利用者とのパイプ役になった。</li></ul>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>④事業所で変化がないと、家での様子はどうなのかと考える時がなかった。【理由】困ったことがないと気付くことができなかった。広い視野で利用者を見守ることが出来ていなかった。</li><li>定期的に何うとよいとは思ったが、実施できなかった。【理由】具体的な計画を立てなかった。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>家での様子を4月から5月にかけて、職員で分担をし、家族や、介護者の不安や、困っていることなどを聞き取り、職員会で発表をして話し合い、現状の把握をする。</li><li>新規の方の情報は、回覧方式を継続して情報の共有に努める。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 29 日 ( 19:30 ~ 21:00 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	6人	2人	12人

前回の改善計画

- ・泊まりの夜、個人ファイルを読み返す。
- ・チーム検討の議題に「本人の目標 (ゴール)」を確認する月を設ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・意識はしたが当日泊まりの利用者さんのみのファイルは見たが、数名に限られてしまった
- ・「本人のゴール」については、確認することを忘れてしまった。
- ・チーム検討時に、目標について課題を挙げて検討する機会を持つことはできた。
- ・泊まりをしていない職員はライフサポートプランが何かを見ることから始めることが必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	2	3	7	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	3	6	3	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	2	10	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	3	9	0	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・「～したい」は声をかけて、食べたいもの、行きたいところ、やってみたい事など聞くようにしている。【理由】送迎時の車内、入浴時は比較的心の内を話してくれるので、意識して聞いてみた。
- ・④提案された関わりの様子をミーティング時や他の職員に報告をして、改善点や変更点などを考えることができた。利用者のつぶやきを聞いたときはバイタル帳にすぐ記入するように心がけた。【理由】朝礼を実施したことで、利用者の様子・変化を意識するようになったため。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・自分の想いを声に出して伝えてくれる方は対応しやすいが、声に出さない方、出せない利用者への対応が手薄になっている。【理由】じっくり関わることが出来ていないことがある。
- ・その場の対応に追われ、表情まで見れていない。【理由】移動してきたばかりで余裕がなかった。
- ・昼寝時にチーム会を実施しているが、チーム会がしっかりできていないときがある。【理由】利用者の緊急訪問や、不穏な利用者への対応があった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・チーム会で「本人のゴール」を確認して、職員会で声に出して発表し全員で確認する。
- ・毎月のチーム会で、「～したい」を議題に挙げ、確認する月を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 20 日 ( 19:30 ~ 21:00 )

3. 日常生活の支援

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	7 人	1 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼の充実を図り、利用者さんの変化を共有する。</li> <li>・泊まり勤務の時に、ファイルで利用者さんの生活歴などを振り返る。</li> <li>・アセスメントに確認した新しい内容を色を変えて記入していく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼が毎日実施できるようになり、利用者の変化への共有ができた。</li> <li>・アセスメントは確認しても色を変えて記入することが全員でできていない。</li> <li>・泊まる方のファイルは確認できたが、泊りをされない方のファイル確認ができなかった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	1	4	7	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	10	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	7	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	9	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	9	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日利用される方との関わり方を勤務者で確認できるようになった。【理由】朝礼で前回利用時の気になる点、当日の対応方法など状況を職員で把握することができた。</li> <li>・朝礼で話し合っても、午前中の様子や変化があると、食事のタイミング、入浴の実施の有無など、看護師・介護士で相談し合い、その時の利用者の様子に合わせた支援ができた。【理由】一人で判断することなく、チームで話し合いをしようと繰り返し訓練した結果だと思う。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前の暮らし方について、全員のことを覚えていない。【理由】利用者全員の生活歴を 10 個以上拾えていないし、覚えきれていない。以前の暮らし方のアセスメントが不十分であったり、新しい事柄が記入されていない。</li> <li>・“声にならない声”に気が付くことがなかったり、気になったこと、変化があったことを忘れてしまった。【理由】後で記入しようと思い、バイタル帳への記入漏れがあった。個人の観察不足。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム会で、それぞれが「以前の暮らし方」10 個を調査し、職員会で発表する。</li> <li>・発表した内容をアセスメントに記入していく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 20 日 ( 19:30 ~ 21:00 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	5 人	1 人	6 人	12 人

前回の改善計画

- ・誕生会、交流会、マリンバコンサート等、家族・地域の方に案内をし交流を図る。
- ・利用者さんの住んでいる地域の民生委員や、顔馴染みの商店、美容室を聞き記録に残す。(アセスメント)

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・事業所の行事(マリンバコンサート、バルーン、ラン伴など)については、地域の方へ声かけはできた。
- ・一人暮らしの方の民生委員は確認できているが、家族と同居の利用者に関しては確認できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	1	7	4	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	3	5	4	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	1	5	6	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	3	8	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・独居の方の民生委員は確認ができている。【理由】相談、報告をしていたため。
- ・誕生者の家族と一緒に昼食を食べたり、地域でお世話になっている方に五平餅・おはぎなど行事食の時におすそ分けをした。【理由】家族、地域の方に日頃の感謝を伝えなかった。
- ・連絡帳に家族からの言葉が記入されている時は、バイタル帳へ記入し、長文はコピーして職員間で共有している。【理由】朝礼で発表することで習慣化してきた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・家族と同居している利用者の民生委員がわからない。利用者の在宅時の生活が見えていない。【理由】利用者についてアセスメント不足。家族がいる方は、任せっぱなしになっている。
- ・利用者の自宅及び地域での暮らし方を知らない。【理由】本人と事業所の間のことばかりを意識して、近所社会との関わりを支援する意識・考えを持っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・在宅の日の“暮らしの流れ”“暮らしの中のこだわり”を職員が分担して聞き取りをする。(気になる方をそれぞれ職員が決める)
- ・職員会で発表し、アセスメントに書き加える。
- ・ライフサポートプランの書き換えをする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 20 日 ( 19:30 ~ 21:00 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	7 人	2 人	2 人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通い、訪問、宿泊についてチーム会にて振り返り職員会で周知する。本人の力や家族の力を取り上げないサービスを心がける。</li> <li>・ 機関誌「おいなんよ通信」を配布し、自分たちから地域の方と関わる努力をする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本人の力、家族の力を借りるように意識してきた。</li> <li>・ 何が困っているのかを聞き取り、解決する方法を家族・本人と一緒に考え、体調によっては緊急の泊まり対応に切り替え、課題の解決に取り組めた。</li> <li>・ 本人、家族双方の様子をみて、事業所としての必要性を検討しサービスの提供・実施ができた。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	2	6	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	8	3	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	10	1	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	10	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本人、家族の様子や変化・希望を共有でき、またその日の流れ、仕事の分担をすることでスムーズな対応が来ている。【理由】朝礼を実施することができ、職員間で共有・確認することが出来た。</li> <li>・ 他の事業所との連携ができた。【理由】「からたち」さんとは互いに連絡が取り合えた。</li> <li>・ 本人、家族のニーズに合わせて都度支援方法を職員間で検討できている。(利用の延長、送迎時間の変更)【理由】ノート、電話での確認がチームで共有し声かけをしている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の資源を知らないため、活用や関わりが希薄である。【理由】そもそも地域の資源が理解できていない、関わりが明確になっていない。</li> <li>・ 独居の場合は民生委員や組合などの関わりができるが、家族がいる利用者は地域の資源が分かりにくい。家族が地域との関わりを望んでいるのか、聞き取りが出来ていない。【理由】家族に任せっぱなしになっている。サービス担当者会議が実施されていないので、家族とのコミュニケーションが不足している。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域ごとの資源の理解が出来ていないので、どんな資源があるのか利用者ごとに調べ、本人、家人の困っていることに地域資源が活用できないかを検討する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 20 日 ( 19:30 ~ 21:00 )

6. 連携・協働

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	2人	3人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業者連絡会は、職員が交代で参加する。</li><li>・地域の子どもや住民の方に、事業所の行事に案内を出し交流をする。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業所の行事(マリンバコンサート、バルーン、交流会、誕生会など)の案内を地域、子供会、家族に出し参加者もありよかった。</li><li>・事業者連絡会は、職員が交代で出席できた。</li><li>・事業所の前を通行する地域の方、通学・通勤の方々に、あいさつや声かけができた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等)との会議を行っていますか?	0	5	2	5	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	5	1	5	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	7	2	2	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	6	3	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・月に一度の事業者連絡会、自治会、町内会の活動(掃除、お祭り、会議)には職員が交代で出席し、管理者に報告ができた。【理由】参加者を皆で決めたので、順番に出席することができた。</li><li>・地域包括支援センターには報告ができ、福祉用具事業者とは連絡・連携が取れた。【理由】業者が事業所に訪問してくれたり、要支援の利用者が登録になったため。</li><li>・ハーモニカ、習字のボランティアが定期的な訪問をしてくれ、子供連れボランティア・地域のボランティアはほぼ毎日来てくれている。【理由】訪問日を話し合っ決めて、ボランティアの日程調整をした。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域包括支援センターとの関わりが特定の職員になっている。【理由】管理者・計画作成担当者に任せてしまっている。自分には関係ないと思っていた。</li><li>・地域・自治会の行事は、常勤の職員が中心になっている。【理由】パートの職員も関わっていくようにする。子供が小さく夜の会合などは出席が難しい。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域、自治会の行事にはパート職員も含めて参加をしていく。</li><li>・他の関係機関との会議は、結果を回覧等で職員に伝達する。</li><li>・異動して間もない職員も、地域を理解するために積極的に地域・自治会の行事に参加していく。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 20 日 ( 19:30 ~ 21:00 )

7. 運営

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	7 人	3 人	2 人	12 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・事業所のあり方について、利用者側、家族側の立場に立ち、職員会でサービス内容の振り返りをする。</li><li>・送迎時、サービス担当者会など設定し、それぞれの意見や苦情を聞くように心がけ、職員間で共有する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・状況に合わせて職員間で話し合いをして、都度振り返るように心がけた。</li><li>・送迎時に直接家族と会話をして意見や気持ちを聞くようにした。</li><li>・サービス担当者会議を適切に設けることが出来なかった。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	3	8	1	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	10	2	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	6	3	12
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	5	4	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の行事など職員が交代で参加できた。【理由】ファイルを作り記録を残すことで、順番に参加ができた。</li><li>・意見や苦情、ヒヤリハットは繰り返さないように対策を考えた。【理由】毎月職員会で報告をして、職員間で原因を考え、対策を立てた。</li><li>・家族に直接聞き取りをしたほうが良いと判断した事柄は、送迎時に尋ねるように工夫した。</li></ul>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の苦情はなかなか言ってもらえない。【理由】一歩踏み込んだ付き合いが出来ていない。コミュニケーションの不足がある。</li><li>・近隣の方とは交流があるが、地域全体としてはまだまだ地域の中に入り込めていないように思う。【理由】地域の皆さんと直接の関わりを持つ機会を知り、参加しようとする意識が不足している。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業所のあり方について理解できていないので、チーム会にて話し合い職員会で確認する。</li><li>・地域や自治会の行事には、職員が引き続き参加していく。</li><li>・利用者、家族、介護者との担当者会議を長くとも 1 年に 1 回は開催する。</li></ul>



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 20 日 ( 19:30 ~ 21:00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	1人	1人	12人

前回の改善計画
・ヒヤリハットを毎月の職員会で振り返り、原因を皆で話し合い、全員の問題として共有する。 ・職場内研修の内容を職員から募り、1つ実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・職員からの要望と事業所の理解の中、キネステティクス、ビーケアさんを招いて数回の研修が実施出来現場で実際に実行できた ・ヒヤリハットの記入漏れがあった。 ・職員会でその月のヒヤリハットを発表し、振り返る場を設けて繰り返さないように努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	6	4	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	2	3	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	5	2	5	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	10	0	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・昨年秋にはたくさんヒヤリハットがあったが、徐々に減っている。【理由】毎月の職員会で振り返りが出来ている。声かけ、確認が出来ようになった結果だと思われる。 ・法人で定期的に実施している女子短大の研修、法律の研修にできるだけ参加している。 ・職員間の声かけが多くなったと思う。【理由】困ったとき、迷うときには他の職員に相談をするように声かけ、経験を重ねたから。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・研修後の報告書、ヒヤリハットに記入漏れがあった。【理由】後で書こうと思っていて忘れてしまった。ヒヤリに対する危機感が欠けている時があった。 ・地域の連絡会に常勤者のみが出席していた。【理由】パート職員は参加しなくても良いと思っていた。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・ヒヤリハットの記入漏れについては、こんなことと思わずに大きな事故に繋がらないようにするために大事な事なので、その日のうちに話し合い、記入するように声かけをする。職員間でなぜヒヤリになったのか、改善するにはどうしたらよいかを考える。 ・事業者連絡会には職員が順番に出席をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 20 日 ( 19:30 ~ 21:00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・カットテーブルの意味を職員で話し合う。・言葉の虐待に意識する。</li><li>・プライバシーの保護を、記録帳、トイレ介助、排泄の報告の場で守るよう意識する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・カットテーブルを移動時には使わなくなった。</li><li>・言葉の虐待については、「1分待って下さい・・・」など時間を伝えるように意識はしたものの、つい忘れて「お待ち下さい」と言ってしまったときもあった。</li><li>・プライバシーでは排便があるとついつい嬉しくなってしまう、利用者さんの前で話をしてしまった。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	7	0	0	12
②	虐待は行われていない	1	7	4	0	12
③	プライバシーが守られている	1	4	7	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	0	12	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	0	6	6	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・身体的な虐待はしていない、言葉の虐待は、理由を伝え時間を明確に伝えられた時期があった。【理由】常にきにかけている、言葉の虐待について研修を受けたことで気付いた。</li><li>・カットテーブルを食事以外では外すようにした。【理由】テーブルの正しい使い方の確認をした。</li><li>・写真の掲載については家族、本人の許可をとっている。【理由】契約の時に同意書をもらうようにしたこと確認が出来る。</li></ul>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・成年後見制度については以前勉強したが、活用は出来ていない。【理由】現在該当者が無かった。</li><li>・「ちょっとお待ち下さい」と言葉での虐待をしてしまった。【確認】介助の必要な方が重なってしまったときに出してしまう。</li><li>・ファイル、バイタル帳が開いたまま無造作に置いてある【理由】個人情報と言う意識が低い。</li><li>・書類の管理・整理が出来ていない。【理由】計画性が無い、工夫が足りない。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者さんの前で職員間の私語はしない、利用者さんを含めた会話にする。</li><li>・トイレ使用時は扉を閉め、バスタオルなどを使ってプライバシーの保護をする。</li><li>・身体拘束は絶対にしないことを継続・続行していく。</li><li>・バイタル帳、個人ファイルはいつも閉じるようにする。</li><li>・どうしてもベッド上でおむつ交換や処置をしなくてはならないときは、目隠しをして行う。</li></ul>



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 おいなんよ	代表者	佐藤 敏子	法人・事業所の特徴	以前は商店が軒並みあった街中にあります。玄関を開けると思わず「ただいまー」と声が出るような民家改修型の事業所です。1歳の幼児～98歳の利用者さんまで、4世代の泣き声、笑い声が聞こえます。地域との繋がりを大切にしながら、食事がとれる工夫。大好きな家で暮らせる工夫。工夫を意識して課題解決に頑張る「さくらまち」です。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 さくらまち	管理者	櫻井 弘子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	3人	3人	0人	1人	2人	0人	3人	0人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	泊まりが多く、職員間の周知が大変難しいが、連携方法を工夫し、職員それぞれのカラーを活かして全職員で取り組む。	朝礼を実施することで、情報の共有ができた。朝礼に参加できない職員は、バイタル帳、ノート等を確認し連携の努力が見られた。	利用者さんの家での様子まで情報を得るなど、細かいことまで考えながら介護に取り組んでいるので安心した。	勤務形態が違う職員もいるため、職員間の周知が難しい。個々の努力も重要であり、バイタル帳記入の充実、朝礼の継続をする。
B. 事業所のしつらえ・環境	五節句を意識して、玄関や部屋の飾りつけを利用者さんと一緒に行う。	各月の担当職員が計画を立て掲示することで、他の職員へ周知でき協力・実行できたと思う。利用者さんの力を借りる姿もあった。	玄関に施錠しているか、居心地はどうなのか、など事業所内の様子は分からない。	利用者さんの誕生日には家族を招き、様子を知っていただく。地域の方には事業所の行事へお誘いする。
C. 事業所と地域のかかわり	餅つき、流しソーメン、緊急法、バルーン等、行事の案内を出す。又、事業所内に来ていただく機会を設ける。	事業所の前(アーケード)を利用して行事をしたり、救急法は推進委員の方々にも参加していただけて良かった。	地域行事への参加は業務以外となり、職員の負担になっているのではないか。→勤務時間として扱い、費用は事業所が負担している	アーケードを利用させていただき、子供会や地域の方との交流の場を設ける。(餅つき、アートバルーン等)
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	独居の方の地域との関わりを、多職種の方と一緒に話し合う場を設けたい。	民生委員、他の事業者などと連携を取り合うことはできたが、話し合いの場を設けることができなかった。	地域のイベント・行事に参加しているが、桜町1丁目だけでなく、2丁目への参加も希望する。	職員が利用者さん宅を訪問して、家族から自宅での様子などを聞き取る。桜町2丁目の会議に参加する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	来年度は、できれば「さくらまち」に来ていただく。事業所の様子を見てもらったり、昼食を食べてもらえたらと思う。	避難訓練の時には事業所内の様子を見てもらうことはできたが、日頃の様子を見ていただく機会を作れなかった。	運営推進会議で1年間の報告を受けるので、様子が分かった。	地域の行事、会議には職員が順番に参加する。運営推進会議で、事業所の1年間の様子を発表する時間をとる。
F. 事業所の防災・災害対策	スプリンクラーが設置されるので、完成後の見学をする。消防署の方を招きAEDの訓練をする。	はなれの見学はできなかったが、消防署の方を招いての消火訓練には参加していただけた。	消防署員の指導の下、運営推進委員も消火訓練に参加できたが、AEDの訓練が実施できなかった。	防災用品を補完する倉庫を今年度中に設置し、非常用備品を揃える。サテライト松島と一緒に、消防署を招き消火訓練・AED訓練を行う。

